

世界遺産

熊野本宮





熊

野本宮大社

はるか千年続く、熊野詣の祈りが聞こえる

「令和」の出典元である万葉集「梅の花歌三十二首」には梅の句が詠まれています。全国有数の梅の産地として知られる和歌山。万葉の時代であれば梅の句に詠まれたであろう梅林の先に、古の神々が鎮まる熊野三山の壮大な姿を目にすることができます。

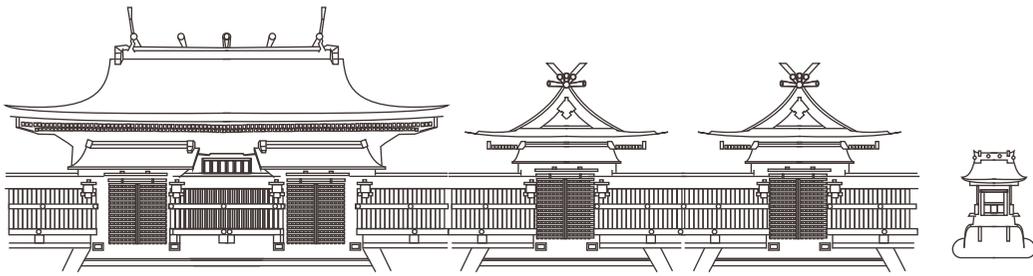
□熊野と呼ばれた田辺を経て山中に分け入り、熊野詣の人々が最初に目指したのが熊野本宮大社です。難行苦行の果て、杉の木立をぬけ、大しめ縄のかかる門をくぐると、荘厳な檜皮葺の社殿が悠然と佇んでいます。古式ゆかしい雰囲気漂わせる社殿は、明治二十二年の熊野川の大洪水による流出を免れた四社を移築したものです。

元は大齋原おおいわらと呼ばれる熊野川の中州に鎮座していた熊野本宮大社。二千年以上前に、大齋原のイチイの木に三体の月が降臨し社殿が創建されたという古事が伝わっています。

「浄不浄を問わず、貴賤に関わらず、男女を問わず」あまねく人々を受け入れると信じられた熊野への信仰は、上皇や貴族、武士や庶民にいたるまで多くの人々を惹きつけました。

創建から二千年以上の時を経た今も熊野本宮大社への参拝者の波が途切れることはありません。蘇りへの祈りが満ちた聖地は、国内外を問わず訪れる人を魅了し続けています。





<p>3 三つみのおおかみ</p> <p>夫須美大神 伊邪那美大神 本地仏 千手観音</p> <p>現世を司る 那智大社の主祭神</p>	<p>2 はやたまのおおかみ</p> <p>速玉大神 伊邪那岐大神 本地仏 薬師如来</p> <p>前世を司る 速玉大社の主祭神</p>	<p>1 けつみこのおおかみ</p> <p>家都御子大神 素盞鳴尊 本地仏 阿弥陀如来</p> <p>来世を司る 本宮大社の主祭神</p>	<p>4 あまてらすのおおかみ</p> <p>天照大神 本地仏 十一面観音</p>	<p>5 結びの神</p> <p>八百万の神</p>
--	--	--	---	-----------------------------------

熊野本宮から新たな人生を出発しよう。

熊野本宮大社の主祭神である「家都御子大神」は、平安初期には「熊野坐神（くまのにいますかみ）」と呼ばれていました。隆々とそびえ立つ山々、鬱蒼と生い茂る森が自然崇拜につながり、平安時代には皇族や貴族が京都から熊野を

目指す「熊野御幸」が盛んに行われました。その後、庶民にも広がり、「蟻の熊野詣」と表現されるほど多くの人々で賑わいました。熊野までの険しい道を歩き、詣でることが、生まれ変わって現世に戻る蘇りだと信じられました。

熊野牛王神符 ごおうしんぶ

カラス文字で書かれた御神符。「オカラスさん」とも呼ばれます。厄除けのお札の他に、神へ誓う「誓紙」としても使われました。

和の守

大人気漫画「ジョジョの奇妙な冒険」の作者である荒木飛呂彦先生がデザインしたお守りです。世界中の人々が「和合」するようにとの願いが込められています。

御朱印

授与所で授かることができます。オリジナルの御朱印帳も。自分で漉いた音無紙に授かることも可能。
→7ページ紙漉き体験

八咫烏ポスト

境内に設置されています。投函する場合は、社務所に声をかけるとスタンプを押印してもらえます。

授与品・御朱印

伝統的なものも、ユニークなものも。ぜひ授与所でご覧ください。

すべての道がここにつながる神聖な地。



大斎原 おおゆのはら

熊野本宮大社が鎮座していた場所。明治二十二年の大洪水により社殿の一部が流出し、2年後に現在の場所に遷座されました。熊野川・音無川・岩田川の合流点の中州に位置し、江戸時代までは橋がなく、着物の袖を濡らし水垢離をおこなったからのみ立ち入ることを許された神聖な場所です。現在は、高さ約34メートルの日本一の大鳥居が熊野の山々を借景に堂々とそびえたっています。

熊野本宮大社社殿

全国の「熊野神社」の総本宮にあたる熊野三山のひとつ。ひわだぶき 檜皮葺の社殿は、四殿三棟が国の重要文化財に指定されています。



熊野本宮大社の主な行事

<p>4 13-15</p> <p>例大祭 れいたさい</p> <p>毎年4月13日から15日にかけて催行されるもっとも大きなお祭りです。13日の湯登神事（ゆのぼりしんじ）では、神の依代（よりしろ）である稚児を、父親が肩車して熊野古道・大日越を歩きます。この神事は和歌山県の無形文化財に指定されています。</p>	<p>7</p> <p>八咫烏神事 やたがらすんじ</p> <p>神門前に飾られた門松で熊野牛王宝印を調製し、火と水で祓い清め、魂が吹き込まれる神事。貴重な白玉宝印が授与されます。</p>	<p>9 下旬</p> <p>献湯祭 けんとうさい</p> <p>温泉という自然の恵みへ感謝を捧げ、熊野本宮温泉郷の発展を祈願します。大きな樽にその日の一番湯を注ぎます。</p>
--	--	---

熊野古道

熊野古道中辺路 袖すり坂



蘇りの地へと繋がる祈りの道

熊野三千六百峰と表されるように深い山々が延々と連なる紀伊半島は、古くから山岳信仰の霊場として山伏が厳しい修行を行っていた場所

です。平安時代から上皇や貴族の間で熊野信仰が高まり、熊野三山を詣でる熊野御幸が盛んに行われるようになりました。時代が下るにつれて信仰は武士や庶民にまで広がり、最盛期には「蟻の熊野詣」と喩えられるほど多くの人々が行き交いました。

熊野古道は熊野へ詣でるための参詣道です。聖地へと向かう修行の道であるため、あえて険しい道が選ばれました。熊野への思い半ばに行き倒れる旅人もいたほどの難路です。

それでも難行苦行による身の浄化の果てにこそ熊野での蘇りがあると信じられていました。

そのような険しい修行の道であった熊野古道も、貴族や庶民へと信仰が広がると、それぞれの時代の要請にあわせいくつものルートが整備されていきました。京都から続く「紀伊路・中辺路」、高野山と本宮を結ぶ「小辺路」、伊勢神宮から続く「伊勢路」、山伏修験の霊場吉野とを結ぶ「大峯奥駈道」。そのいずれもが本宮へと通じています。

数あるルートの中でも、都からの熊野御幸の際に用いられ、最も多くの人々が歩いたとされるのが紀伊田辺から熊野本宮大社へと繋がる「中辺路」(なかへち)です。古の面影を残す古道や、山地で営まれる人々の生活風景、旅人の疲れを癒す宿場など、往時を偲ばせる風景と出会うことができます。標識やガイドブック、宿泊施設も整っていて、現在でも国内外から多くの人が訪れる人気のルートです。

2004年には、紀伊山地の自然を基に成立した霊場と参詣道、および周囲を取り巻く自然、温泉、田園などの文化的景観が評価され「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録されました。異なる宗教の霊場が共存し、時代をこえて受け継がれる姿は、世界からの注目を集めています。



湯の峰温泉

湯けむり漂う日本最古の温泉地

湯けむり漂う山間にひっそりと佇む湯の峰温泉は、4世紀頃に発見されたと伝わる日本最古の温泉です。熊野詣の旅人がここで旅の疲れを癒し、また湯垢離（ゆごり）を行い、聖地へ参拝する前の禊としました。古き良き情緒漂う風景は、訪れる人々を魅了してやみません。日によってはお湯の色が7回も変化することから「七色の湯」とも呼ばれる「つぼ湯」は、餓鬼阿弥になった小栗判官が蘇生したという伝説が残る岩風呂です。熊野古道の一部として世界遺産に登録されました。

湯の花がそこかしこに見られる川のそばには、約90度のお湯が湧き出る湯筒があります。網に入れた卵や野菜を茹でて味わえるのも楽しみのひとつです。



1. つぼ湯



2. 湯筒

1. 「子宝の湯」との別名もあります。大人二人ほどで一杯になるような小さな天然の岩風呂。そばを流れる湯の谷川から湧き出る源泉はかなりの高温。熱すぎる場合は、冷水を注入して湯加減を調節してください。
(湯の峰温泉公衆浴場：TEL 0735-42-0074)
 2. 地元住民はここで野菜を茹でるなど、暮らしに根付いた欠かせない場所。近くのお店で卵を買って10分～15分ほど浸けておけば、温泉の香りを感じるゆで卵の完成です。

熊野本宮温泉郷

古から愛され続ける熊野本宮温泉郷
癒しと蘇りの湯が芯から体を癒します

川湯温泉

川底から温泉が湧き出す
不思議な温泉



仙人風呂・湯けむり灯籠

温泉から立ちのぼる湯気が、河原を彩る灯籠に照らされ、幻想的な雰囲気を作り出します。(仙人風呂開催期間中、毎週土曜日実施)

※仙人風呂は、例年12月から2月末までの開催です。

冬には、大塔川の一部をせき止めた巨大な露天風呂「仙人風呂」がつくられます。それぞれが思い思いのスタイルで露天風呂を楽しめる仙人風呂。川湯温泉ならではの、川から立ちのぼる湯気と野趣あふれる景色を堪能してみたいかがでしょうか。期間中の土曜日には灯籠でライトアップされた幻想的な雰囲気のなかで、満点の星空と熊野の大自然を満喫することができます。

川湯温泉街のすぐそばを流れる大塔川は、川底から約70度の温泉が湧き出す不思議な川です。河原を掘って湧き出る温泉に冷たい川の水を混ぜると、自分だけの露天風呂をつくることができます。春から夏にかけて川遊びをしながら同時に露天風呂を楽しめる全国でも珍しい温泉地です。



渡瀬温泉

自然豊かな風景に囲まれた
山間の温泉リゾート

熊野三山のすそ野を流れる四村川沿いの渡瀬温泉には、西日本最大級の大露天風呂や趣向を凝らした貸切露天風呂が楽しめる宿泊施設「わたらせ温泉」があります。

源泉かけ流しの温泉は豊富な湯量を誇り、熊野ならではの自然あふれる風景を目の前に、心から癒してくれます。

近隣には渡瀬温泉センター「おとなしの郷」があり、温泉施設やコテージ・キャンプ場などが立地する人気のアウトドアエリアです。



清流・四村川は川遊びや川釣りにも人気です。

熊野の自然を感じられるキャンプ

熊野の自然を感じながら滞在できる「キャンプ」はいかがでしょう？熊野本宮周辺のキャンプ場は川や温泉、熊野古道も近いので、年間を通して楽しんでいただけます。

渡瀬みどりの広場 (渡瀬温泉センター「おとなしの郷」)

田辺市本宮町渡瀬 45-1 TEL 0735-42-1777

田辺川湯キャンプ場

田辺市本宮町川湯 1288 TEL 0735-42-1168

田辺川湯キャンプ場



渡瀬みどりの広場・コテージ





別名、貴賤笠。
平安時代に身分の高い人から
庶民まで、貴賤を問わず
愛用されていたことから
“きせんぼ”と呼ばれていました。

皆地笠

熊野のヒノキを使った伝統工芸の笠です。地元の方も
参詣者も、雨よけや日よけとして、「皆地笠」を使用し
ていました。

熊野牛

高級和牛「熊野牛」の肉質はきめ細
やかで柔らかく、味は香ばしく、肉そ
のものの風味に優れています。さらに
焼いたときの香りの良さも魅力です。

☉ 八屋

和歌山県田辺市本宮町本宮 471-1
TEL 0735-42-1156



熊野に来たら
食べなきゃソン!



鮎・アマゴ

熊野川の清流・渓流で育った鮎・あまご。
旅館や民宿など、夕食でいただける定番
のメニューです。山間ならではの恵みま
ご堪能ください。

特産品

熊野本宮を代表する
特産品の数々



熊野本宮ガラス

茶房「靖」のオーナーが作り出すガラスは、
熊野の透き通った空気を感じさせる色合い
です。店内に展示している数々のガラス製
品の中から、ぜひお気に入りを見つけてく
ださい。

☉ ガラス屋・茶房「靖」(せい)

和歌山県田辺市本宮町本宮 294
TEL 0735-42-0147

めはり寿司

俵型にむすんだおむすびを春先に採
れた高菜の葉でくるんだ郷土料理の
一つです。それぞれのお店によって
こだわりの味付けがありますが、ど
れも素朴で優しい味わいです。ぜひ
一度味わって下さい。

昔は山仕事のお弁当でした。
食べる時に、
大きく目を見張るから、
めはり寿司なんだって!!



天然の模様を楽しんで!

立木染

自生している立木を、蒸散作用を利用し染料
で鮮やかに染めています。木の特性を利用し
た、どれも世界にひとつだけのアクセサ
リーです。

☉ 立木染工房

和歌山県田辺市本宮町皆地 640
TEL 090-2709-7231
その他、土産店、宿泊施設などで販売中

体験



平安衣装体験

熊野詣が盛んになった平安時代
の装いを再現! 装束を身にまとい、
大斎原を歩いてみたら古の熊
野詣を体感できるはず。あでやか
な十二単などの衣装もありますの
で結婚式などあなただけの記念
日におすすめです。

☉ 時代衣装熊代屋

和歌山県田辺市本宮町本宮 250-1
(本宮郵便局 2 軒隣)
TEL 090-3285-9046



イベント

新春! 仙人風呂カルタ大会

1月中旬

湯船に浮かべられた、約1000枚の杉
板で作られたかるたを取り合う様子
は、迫力満点です。

熊野和紙 紙漉き体験

熊野本宮の伝統和紙「音無紙」の紙漉
きを体験できる施設や工房があります。
自分で漉いた「音無紙」に熊野本宮大
社で御朱印をもらうことができます。

☉ 熊野和紙体験工房 おとなし

和歌山県田辺市本宮町本宮 454-3
TEL 0735-42-0269



八咫の火祭り

11月中旬

本宮の長い歴史と現代の感性を
織り交ぜたお祭り。時代行列の
古式ゆかしい「祀り」からはじ
まり、打ち上げ花火へと変化し
ていきます。人々を幸福に導く
お祭りです。





飛行機・自動車で
東京から 約2時間30分

自動車
大阪から 約3時間30分

自動車
名古屋から 約3時間30分

アクセスガイド

- 京阪神方面から**
- 電車にて
- 京都・新大阪・大阪からJRきのくに線にて「紀伊田辺駅」下車、駅前から龍神バス・明光バスで本宮へ
- 自動車にて
- 阪和自動車道南紀田辺IC経由、紀勢自動車道上富田ICを下りる。上富田町岩崎交差点を左折、国道311号を経て本宮へ
 - 阪和自動車道有田ICより国道424号を南下、田辺市龍神村を経て国道311号に入り本宮へ
 - 南阪奈道路、京奈和自動車道五條ICより、国道168号を南下、本宮へ

- 奈良方面から**
- バスにて
- 近鉄大和八木駅から奈良交通バスで本宮へ
- 東京・名古屋方面から**
- 電車にて
- 名古屋駅からJR紀勢本線にて「新宮駅」下車、駅前から熊野御坊南海バス、奈良交通バスまたは明光バスで本宮へ
- 自動車にて
- 東名阪自動車道・伊勢自動車道を利用し、熊野大泊ICを下りる。国道42号立石南交差点を右折、国道311号・国道168号を経て本宮へ
 - 熊野大泊ICを下りて、国道42号で新宮へ。橋本交差点から国道168号を経て本宮へ

イベントカレンダー

元旦午前2時～午前4時	熊野本宮大社開寅祭	4月上旬	新茶祭
1月7日	八咫鳥神事	9月下旬	献湯祭
1月8日	湯峰八日薬師祭	11月	八咫の火祭り
1月12日	川湯十二薬師祭	11月	こだま祭
1月中旬	仙人風呂かるた大会	12月1日～2月末	仙人風呂
4月13日～15日	熊野本宮大社例大祭	旧暦11月23日 (12月中旬～1月上旬)	幻の三体月観月会

※上記の日程は例年を参考としたものです。変更になる場合がございますので、詳しくは熊野本宮観光協会までお問い合わせください。

